KENWOOD

デジタルオーディオプレーヤー

HD10GB7

取扱説明書

保証書付 →75

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

The English Quick Guide (Operating instructions) is indicated on page 67. Refer to the page if you prefer English.

Designed for Windows Media™

© B60-5651-00/01 (JJ) (110)

目次

本機の特徴

● 高音質クリアデジタルアンプ

● 音質向上技術「Supreme」搭載 → 46

● 対応再生フォーマット：MP3, WMA, WAV, JPEG

● 音楽配信 WMA DRM10 対応（Windows Media Technology）

● 小型ボディに 10GB 容量の HDD 搭載

● 1.5 インチカラー有機 EL ディスプレイ搭載

● 好みに合わせて設定できる、ディスプレイのデザインテーマ → 51

安全上のご注意

⚠：本項目は安全確保のために、必ずお読みください。

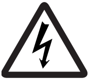
製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。
この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のポータブルオーディオ機器全般についての内容も記載しています。（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

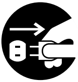
絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

⚠ 警告

運転中はヘッドホンを使用しない

自転車に乗りながら、または自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない。また、歩行中にこの機器を使用する場合、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。
交通事故の原因となります。

運転中は操作しない

自動車やオートバイ、自転車など運転中の操作は行わない。交通事故の原因となります。本機を操作するときは、必ず安全な場所に車を停めてから行ってください。

運転中は画面を注視しない

交通事故の原因となります。

⚠ 注意

充電端子や電池端子をショート（短絡）させない

充電端子や電池端子を金属などでショート（短絡）させないでください。
火災、液もれ、故障の原因となることがあります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・液もれの原因となることがあります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・液もれの原因となることがあります。

本機を熱器具に近づけない

本機を熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
火災・液もれの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気のあたる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・液もれの原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災・液もれの原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。プレーヤーや記録したデータが破損する原因となります。
- ディスプレイに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にバックなどに入れないでください。押されたときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- **汗や湿気に注意する**
  本機を夏場の胸ポケットに入れて長時間使用すると内部に水分や汗などが浸入して誤動作、故障の原因となります。

水濡れ判定シールについて

プレーヤーには修理時の原因特定を速やかに行うために、機器内部に水濡れ判定シールを貼り付けてあります。このシールにより水に濡れたかどうかを判別します。

使用条件

温度:5℃～35℃ 湿度:30%～80%（RH）
ただし結露しないこと。

結露にご注意

プレーヤーと外気の温度差が大きいと、プレーヤーに水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、プレーヤーが正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

著作権を守りましょう

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽CDなどを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で記録したデータを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。

内蔵ハードディスクについて

このプレーヤーには、ハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの変化に弱いためプレーヤーをお使いの際は、以下のことにご注意ください。
誤った使い方をした場合、故障、誤作動、記録データの破損などの原因となります。

- 直射日光の当たる場所、閉め切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
- 極端に低温になるところに置かないでください。
- 急激な温度変化を与えないでください。
- 雷がなっているときは使用しないでください。
- 磁石やスピーカーなど磁気を発するものの近くに置かないでください。
- 振動が強いところに置かないでください。
- 物をのせたり、物を落としたりしないでください。
- 水のかかるところや、湿気の多いところに置かないでください。ぬれると使用できなくなったり故障の原因になります。
- 近くにコップなど、液体の入った容器を置かないでください。ぬれると使用できなくなったり故障の原因になります。
- 動作中、非動作時に関わらず振動や衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。
- 強い力で押したり、ひねったりしないでください。
- 内蔵ハードディスクへの書き込み、読み込み中は電源を切ったり、USBケーブルを取り外したりしないでください。
  また、内蔵ハードディスクに保存した内容の損害については、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

記録したオーディオ、画像データについて

- プレーヤーやパソコンの不具合で、データが破損または消去された場合、そのデータ内容および付随的損害（音楽の購入取得に要した諸費用等を含む）の保証はいたしません。

ファームウェアのバージョンアップ

より良くお使いいただくために、ファームウェアのバージョンアップをすることがあります。
アップデートについては、「http://www.kenwood.co.jp/faq/」にてご案内しております。

廃棄・譲渡時のデータ消去のご注意

このプレーヤーは、ハードディスクを内蔵しております。内蔵ハードディスクを使用した状態のまま廃棄・譲渡すると、ハードディスク上の情報を第三者に見られてしまうおそれがあります。
廃棄・譲渡する場合、内蔵ハードディスク上のすべてのデータを消去してください。
ただし、データの消去、内蔵ハードディスクのフォーマットをしただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元されるおそれがあります。
見られたくない情報を保存していた場合には、市販のデータ消去ソフトなどを使用してデータを消去し、復元されないようにすることをおすすめします。

使用上のご注意

内蔵電池について

- 内蔵電池は、プレーヤーを使用していなくても少しずつ自然放電していきます。プレーヤーを長時間放置すると、内蔵電池が放電しきってしまうことがあります。この場合、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などにより変わります。
- 低温の環境で使用すると、再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約500回充電できます。(参考値であり、保証する値ではありません)
- 内蔵電池はリチウムイオン電池です。ニッカド電池やニッケル水素電池のように浅い充電や放電を繰り返すと容量が減少してしまうメモリー効果はありません。継ぎ足し充電ができます。
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。
  充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなった場合、内蔵電池が劣化していると思われます。
  内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
- 内蔵電池が放電しきったことによる、記録内容の変化・消失については、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。
特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

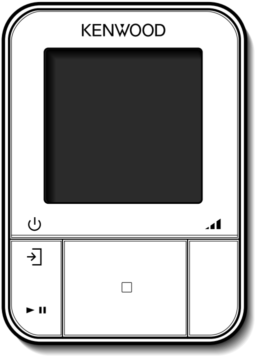
本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器と異なることや、実際にありえない表示パターンが記載されていることがあります。

Supremeは、株式会社ケンウッドの商標です。

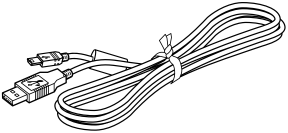
Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

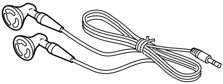
付属品の確認



プレーヤー本体



USBケーブル

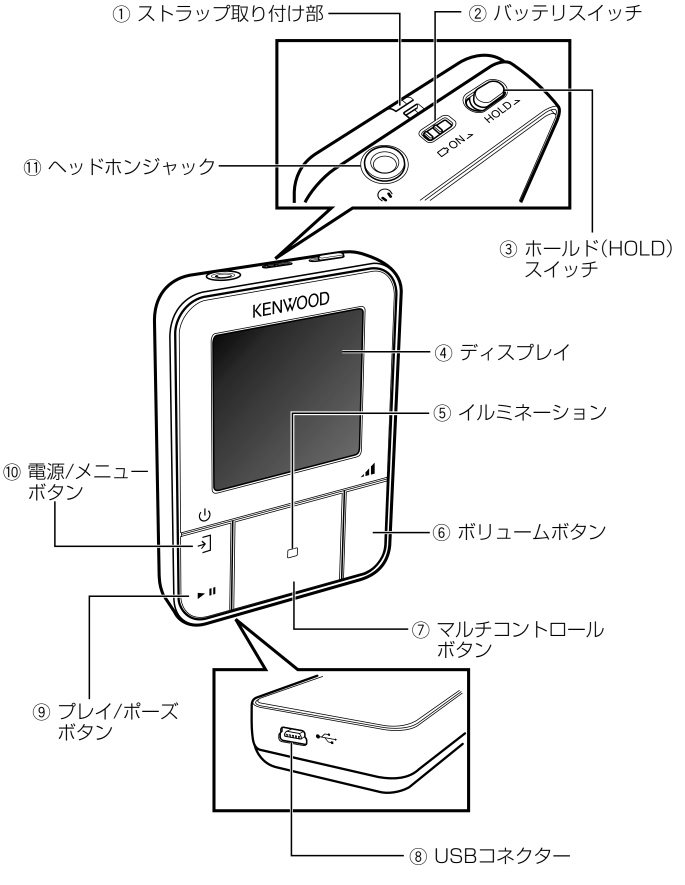


ヘッドホン



取扱説明書
（保証書付）

各部の名称とはたらき



① ストラップ取り付け部
② バッテリスイッチ
ON
HOLD
⑪ ヘッドホンジャック
③ ホールド(HOLD)
スイッチ
KENWOOD
④ ディスプレイ
⑤ イルミネーション
⑩ 電源/メニュー
ボタン
⑥ ボリュームボタン
⑦ マルチコントロール
ボタン
⑨ プレイ/ポーズ
ボタン
⑧ USBコネクター

① **ストラップ取り付け部**

② **バッテリスイッチ**
- バッテリ（内蔵充電式電池）をオン/オフします。
  オン(ON)：使用するとき
  オフ：長期間使用しないとき
  通常は、オン（ON)のままにしておいてください。

③ **ホールド（HOLD）スイッチ**
- すべてのボタン操作を受け付けなくなります。カバンなどに入れて持ち運ぶときに、プレーヤーの誤操作を防ぎます。

④ **ディスプレイ**

⑤ **イルミネーション**
- ディスプレイ消灯中の電源オン、内蔵電池の充電状態、ホールド機能オンを知らせます。
- 曲などのデータ転送中は点滅します。

⑥ **ボリュームボタン**
- 音量を調整します。
- ボタンを押し続けると、音量が徐々に変わります。

⑦ **マルチコントロールボタン**
- 15ページをご覧ください。

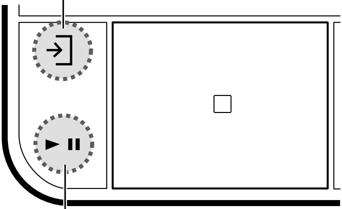
⑧ **USBコネクター**
- 音楽ファイルなどを転送するときや充電するときに、付属のUSBケーブルでパソコンと接続します。

⑨ **▶/❚❚ プレイ/ポーズボタン**
- 14ページをご覧ください。

⑩ **⏻/→] 電源/メニューボタン**
- 14ページをご覧ください。

⑪ **ヘッドホンジャック**
- 付属のステレオヘッドホンを接続します。

MEMO ● 本プレーヤーにはストラップを通す穴がありますが、金属製のフック形状のもの（キーホルダーなど）を取り付けないでください。このようなものを取り付けると、本プレーヤーが壊れる恐れがあります。



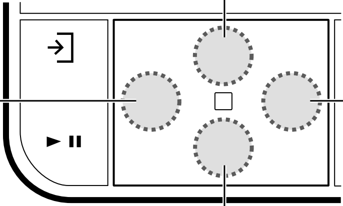
⏻/→] 電源/メニューボタン

- ポップアップメニューを表示します。もう一度押すと、ポップアップメニューが消えます。
- ポップアップメニューに表示される項目は、表示したときの状況に応じて変わります。
- ボタンを押し続けると、電源をオン/オフできます。
- ディスプレイが消えているときは、ディスプレイを表示します。

▶/❚❚ プレイ/ポーズボタン

- 曲を再生／一時停止します。
- メニュー画面では、選んだ項目（カーソルのある項目）を決定します。

本書では、マルチコントロールボタンなどの各部を押すことを上図のように表記します。



上ボタン

- トップメニュー、ライブラリ、ポップアップメニューでは、カーソルを上に移動して項目を選びます。
- 再生中（ジャケット写真の拡大表示中を含む）は、曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押すと、1つ前の曲に戻ります。
- 曲の再生中にボタンを押し続けると、押している間、早戻しされます。
- 画像の表示中は、前の画像を表示します。

右ボタン

- 上ボタンまたは下ボタンで選んだ項目を決定して次（右）へ進みます。
- トップメニュー、ライブラリを表示中にボタンを押し続けると、再生画面に戻れます。

下ボタン

- トップメニュー、ライブラリ、ポップアップメニューでは、カーソルを下に移動して項目を選びます。
- 再生中（ジャケット写真の拡大表示中を含む）は、次の曲に進みます。
- ボタンを押し続けると、押している間、早送りされます。
- 画像の表示中は、次の画像を表示します。

左ボタン

- 1つ前（左）の画面に戻ります。
- ボタンを押し続けると、トップメニューに戻れます。
- ポップアップメニュー表示時に押すと、ポップアップメニューが消えます。

画面表示アイテム

トップメニュー



アーティスト	(35ページ)
アルバム	(35ページ)
トラック	(35ページ)
お気に入り	(35ページ)
新着トラック	(35ページ)
ジャンル	(35ページ)
リリース年	(35ページ)
プレイリスト	(35ページ)
ピクチャ	(35ページ)
フォルダ	(35ページ)
設定	(50ページ)

設定メニュー



明るさ	(51ページ)
イルミネーション	(51ページ)
点灯時間	(51ページ)
オートプレイ	(51ページ)
ビープ音	(51ページ)
デザインテーマ	(51ページ)
言語	(52ページ)
USB接続	(54ページ)
設定リセット	(56ページ)
システム情報	(51ページ)

ポップアップメニュー



お気に入りに登録/解除	(43ページ)
再生モード	(42ページ)
Supreme	(46ページ)
サウンドモード	(46ページ)
タイマー設定	(48ページ)
プロパティ	(40ページ)

MEMO

● ポップアップメニューで選べる項目は、表示している画面によって異なります。

音楽を聞く／画像を見るまでの流れ

準備

充電する（18ページ）
初めて電源を入れる（21ページ）

音楽ファイルを準備する

曲をパソコンに取り込む（23ページ）

パソコンからプレーヤーに曲や画像を転送する

USBモードを選択する（26ページ）
曲や画像をプレーヤーに転送する（28ページ）

プレーヤーで音楽や画像を再生する

曲を選んで聞く（35ページ）
再生中の画面（39ページ）
再生中の操作いろいろ（41ページ）
再生モードいろいろ（42ページ）
画像を見る（44ページ）

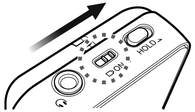
音量や音質を調整する

音量を調整する（45ページ）
音質を調整する（46ページ）

充電する

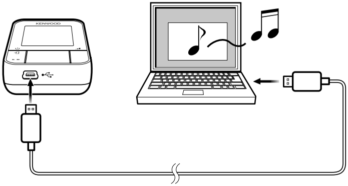
プレーヤーには充電式電池(以降、「バッテリ」)が内蔵されており、パソコンとUSBケーブルで接続して充電します。

1 **バッテリスイッチをオン(ON)にします。**



バッテリスイッチを矢印の方向にスライドします。

2 **プレーヤーとパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。**



充電中はイルミネーション(赤色)が点灯します。

3 **充電が完了したら、USBケーブルを外します。**

イルミネーション(赤色)が消灯したら、充電完了です。
約3時間で充電が完了します。

MEMO
- プレーヤーとパソコンとの接続には付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブを使用して接続したときの動作保証はいたしません。
- バッテリスイッチがオンになっていれば、プレーヤーとパソコンを付属のUSBケーブルで接続したときにはいつも充電されます。

充電とバッテリ残量表示について

プレーヤーを使っているときには、バッテリの残量は画面にアイコンで表示されます。

	バッテリの残量を表示します。
 (赤色)	充電中の表示です。
	バッテリの残量がありません。バッテリを充電してください。
 (赤色)	充電できません。

必要なパソコンのシステム構成

OS	Microsoft® Windows® XP/2000（日本語版）
接続インターフェース	USB 1.1/2.0 規格に準拠(USB 2.0を推奨)

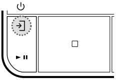
MEMO

- 上記に適合するすべての環境について動作保証するものではありません。
- 上記OSがプリインストールされたパソコンをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作保証はいたしません。

電源を入れる／切る

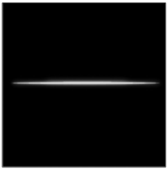
1 **プレーヤーの電源を入れます。**

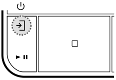




ディスプレイにケンウッドのロゴが表示されるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。
最後に電源を切ったときのモードになります。

2 **プレーヤーの電源を切ります。**

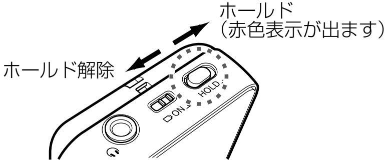




ディスプレイが消えるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。
再びプレーヤーの電源を入れるときは電源をオフ後、数秒間時間をおいてから、電源/メニューボタンを押してください。

ホールド機能について

プレーヤーをカバンなどに入れて携帯するときなど、誤操作を防ぐためにすべてのボタンを無効にすること(ホールド機能)ができます。
プレーヤーを操作するときは、ホールドを解除してください。



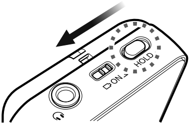
MEMO

● ホールド機能がオンの場合、ディスプレイが消灯中はイルミネーションが約5秒ごとに2回点滅します。また、ディスプレイが表示されているときには、が表示されます。

初めて電源を入れる

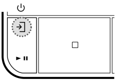
お買い上げ後、初めてプレーヤーの電源をオンにしたときには、ご使用になる言語を選択します。

1 **ホールド機能を解除します。**



ホールドスイッチに赤色の部分が見えるときはホールド機能がオンの状態です。

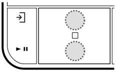
2 **プレーヤーの電源をオンにします。**



ディスプレイにケンウッドのロゴが表示されるまで、電源/メニューボタンを押します。
ケンウッドのロゴが表示された後、言語を選択する画面が表示されます。

3 **言語を選択します。**

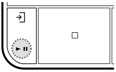




上または下ボタンで、使用する言語を選択します。

4 **選択した言語を設定します。**





プレイ/ポーズボタンで決定します。

MEMO

- ここで設定した言語で画面が表示されます。
- プレーヤーの電源をオフにしても、ここで設定した言語の選択は保持されます。
- あとから言語を変更することもできます(52ページ)。
- 電源がオンのままで、一定時間何も操作しないと、自動的に画面が消灯します。ディスプレイ消灯中は、イルミネーションが約5秒間ごとに1回点滅します。なお、ディスプレイの点灯時間は変更できます(51ページ)。

曲をパソコンに取り込む

プレーヤーで再生する音楽ファイルは、まずパソコンに取り込んでおきます。パソコンへの取り込みには、Windows Media Player 10/9などのリッピングソフトを使用します。

Windows Media Player 10/9で取り込むときは

音楽CDをWindows Media Player10/9でパソコンに取り込みます。
その後、本プレーヤーに転送します。(説明はWindows Media Player10の場合です)

1 **Windows Media Playerを起動します。**

2 **[取り込み]タブをクリックします。**



3 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

音楽CDの曲が一覧で表示されます。

4 **取り込みたい曲にチェックマークが付いていることを確認します。**

リストの一番上のチェックボックスにチェックを付けると、すべての曲にチェックを付けたりはずしたりできます。



チェックマークを外すと、その曲は取り込まれません。

5 **[音楽の取り込み]タブをクリックします。**

選択した曲の取り込みが始まります。



取り込み方法を設定するときは

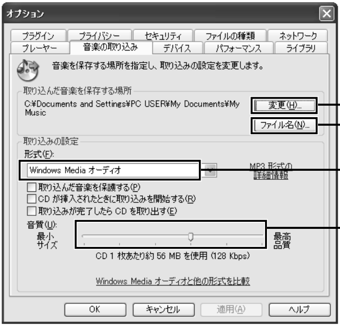
取り込んだ曲を保存するフォルダなど、曲の取り込み時の動作を設定できます。

1 **[ツール]→[オプション]を選択します。**

オプションダイヤログが表示されます。

2 **[音楽の取り込み]タブをクリックします。**

3 **必要な項目を設定します。**



取り込んだオーディオデータファイルを保存するフォルダを変更します。

取り込んだオーディオデータファイルのファイル名の付け方を変更します。

取り込んだオーディオデータファイルのファイル形式を変更します。

ビットレートを変更します。

4 **[OK]をクリックします。**

MEMO

- 取り込んだ曲は、パソコンの「マイミュージック」フォルダに取り込まれWindows Media Playerの「ライブラリ」で表示できます。
- プレーヤーで再生できるオーディオデータのファイル形式は、MP3（*.mp3)、WMA（*.wma)、およびWAV（*.wav）です。詳しくは、「定格」（66ページ）をご覧ください。
- Windows Media Player 10/9などのソフトの操作方法は、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。

アルバムのジャケット写真について

プレーヤーでジャケット写真を表示するには、Windows Media Playerでアルバムアート付きのアルバム情報を取り込んでおく必要があります。

アルバム情報の取り込みかた

1 「ライブラリ」タブをクリックして取り込みたい曲を選びます。

「右クリック」ー「アルバム情報の検索」で選択します。

2 取り込みたいアルバム情報を検索します。

3 「完了」をクリックします。

画像データについて

プレーヤーで表示できる画像は、JPEGファイルです。

パソコン接続時のフォルダ構成について

Windowsからプレーヤーをエクスプローラで見ると、次のような階層構造で見えます。



MEMO

● MSCモードおよびMTPモードで接続し転送したデータはパソコンでは、おのおの同じモードで接続したときに表示されます（54ページ）。

USBモードを選択する

本プレーヤーとパソコンを接続するときのUSBモードには、次の2つのモードがあります。

● ストレージモード
データ転送と充電を行います。このモードで接続しているときは、プレーヤー本体は操作できません。データ転送モードは2種類あり、お買い上げ時にはMSC（マスストレージ)モードに設定されています。詳しくはUSB接続モード(54ページ)をご覧ください。

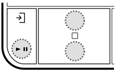
● プレーヤーモード
充電しながら、再生などプレーヤー本体を操作することができます。このモードで接続しているときは、パソコンからのデータ転送は行えません。

1 **プレーヤーの電源をオンにしてパソコンと接続します。**

18、20ページをご覧ください。

2 **USBモードを選択します。**





USBケーブルを接続するとUSBモード選択画面が表示されます。
プレイ/ポーズボタンで決定します。

MEMO

● MTPモードで接続するときは、USB接続モードを「自動切替」に設定してください (54ページ)。なお、MTPモードは、WindowsXPでWindows Media Player 10以降がインストールされているパソコンでサポートされています。

● パソコンからのデータ転送時に本プレーヤーが熱くなることがありますが異常ではありません。

パソコンから取り外すときは

ストレージモードでパソコンと接続しているときには、次の手順で取り外します。

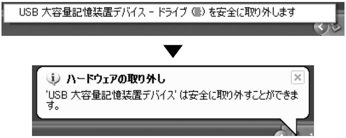
MSCモードで接続されているとき

1 **[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。**





2 **[USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します]をクリックします。**



安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーからUSBケーブルを抜いてください。

MTPモードで接続されているとき

1 **プレーヤーからUSBケーブルを抜きます。**

イルミネーション(青色)が点滅していない事を確認してから、USBケーブルを抜いてください。

MEMO

- プレーヤーのハードディスクにアクセスしているときは、イルミネーション(青色)が点滅します。点滅しているときは、プレーヤーをパソコンから取り外さないでください。
- プレーヤーモードで接続しているときは、そのままUSBケーブルを抜いてください。

曲や画像をプレーヤーに転送する

パソコンに取り込んである音楽ファイルや画像を、プレーヤーに転送します。

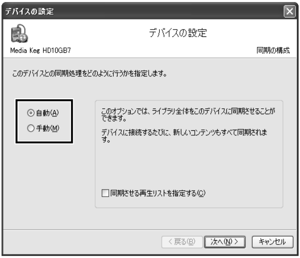
Windows Media Player 10/9で同期するときは

（説明はWindows Media Player10、「MTP」モードで接続した場合です。）

1 **Windows Media Playerを起動します。**

2 **プレーヤーの電源をオンにしてパソコンと「ストレージモード」で接続します（26ページ）。**

3 **プレーヤーとパソコンの同期方法を「自動」または「手動」から選んで[次へ]をクリックします。**



自動：プレーヤーとパソコンを接続すると自動的に同期が行われデータが転送されます。手順６に進みます。

手動：手動でプレーヤーにデータを転送します。手順４に進みます。

4 **Windows Media Playerの「ライブラリ」タブで、転送（同期）したい曲、画像を選びます。**

Windows Media Playerのツリー表示「すべての音楽」、「すべての画像」から選びます。

5 **右クリックして表示されるショートカットメニューから[追加]→[同期リスト]を選びます。**

同期リストに、曲、画像が追加されます。

音楽や画像の準備

6 **右下の「同期の開始」をクリックします。**

選んだ曲、画像がプレーヤーに転送されます。

MEMO

- パソコン接続時のフォルダ構成については25ページをご覧ください。
- 「すべての画像」のライブラリに画像データを追加するにはWindows Media Playerを使ってパソコン上にある画像データを検索します。
- ツリー表示で「すべての画像」を表示させるには「ツール」→「オプション」→「プレーヤー」の「デバイス用に画像のサポートを有効にする」のチェックボックスにチェックマークを付けてください。
- 同期モードを「自動」に設定にすると、プレーヤーとパソコンを接続したときに、プレーヤーのライブラリとパソコンのライブラリが同じになるように曲や画像が自動的に転送されます。
- 同期モードを「自動」に設定した場合、同期済みのデータをパソコンから削除すると、プレーヤーをパソコンに接続したときに、同期していた同じデータがプレーヤーからも削除されます。
- ストレージモードで接続されているときには、プレーヤーのボタンは操作できません。
- Windows Media Player 10/9などのソフトの操作方法は、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。

ドラッグ&ドロップで転送するときは

Windows Media Playerのライブラリに登録されていない曲、画像をプレーヤーに転送するときは、「MSC」モードで接続します（54ページ）。Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスクから本プレーヤー（Windows上では「HD10GB7」)へドラッグ&ドロップします。コピー&ペーストでも行えます。

1　本プレーヤーに相当するリムーバブル ディスクを開きます。

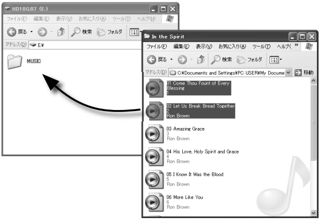
「スタート」ー「マイ コンピュータ」ー「HD10GB7」とクリックまたはダブルクリックします。





2　音楽、画像ファイルが入っているフォルダを開きます。

3　転送する音楽、画像ファイルをリムーバブル ディスクにドラッグ&ドロップします。



MEMO

● Windows Media Playerで音楽CDの曲をパソコンに取り込むときに、コピー禁止が設定されていると、プレーヤーへの転送方法が Windows Media Playerのみに限定されます。

プレイリストを作る

パソコンでプレイリストを作成すると、再生する曲や順序を自由に決められます。Windows Media Playerで作成したプレイリストは、パソコンと同期時にプレーヤーに転送されます。（説明はWindows Media Player10の場合です）

1 **[ファイル] メニューの[新しいプレイビューリスト]をクリックします。**

2 **[プレイ ビュー リスト]をクリックし、メニューで[新しいリスト]→ [再生リスト]をクリックします。**



3 **作成するプレイリストに登録する曲を新しい再生リストにドラッグ&ドロップします。**



4 **[新しい再生リスト]をクリックし、メニューで[再生リストに名前を付けて保存]をクリックします。**



5 **再生リストの名前を入力して[保存]をクリックします。**



MEMO

- プレイリストは、Windows Media Palyerでは｢再生リスト｣と呼ばれています。
- 作成した再生リストは、コンテンツウィンドウ領域の [再生リスト]下に追加されます。
- 手順2で[同期リスト]を選択すると、同期リストを作成できます。
- 作成した再生リストは同期時にプレーヤーに転送されます。
- Windows 2000またはWindows Media Player 9をご使用の場合やMSC接続での転送では、プレイリストを転送することはできません。
- Windows Media Player 10などのソフトの操作方法は、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。

プレーヤーから曲や画像を削除する

プレーヤーに保存されている音楽ファイルなどを削除します。

（説明はWindows Media Player10、「MTP」モードで接続した場合です。）

1 **Windows Media Playerを起動します。プレーヤーの電源をオンにしてパソコンと「ストレージモード」で接続します(26ページ)。**

2 **[ライブラリ]タブをクリックします。**



3 **プレーヤー (Media keg HD10GB7)、「すべての音楽」(曲を削除する場合)または「すべての画像」(画像を削除する場合)をクリックします。**



4 **削除する曲または画像を選んで右クリックし、コンテキストメニューで[削除]を選択します。**



MEMO
- 削除した曲や画像は元に戻せません。間違いのないように慎重に操作してください。
- Windows Media Player 10/9などのソフトの操作方法は、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。

プレーヤーをフォーマットする

プレーヤーに保存されている音楽ファイルなどをすべて削除するときは、プレーヤーをフォーマットします。フォーマットするときは、ファイルシステムを「FAT32」で行ってください。

《注意》

● フォーマットすると、すべてのファイルが削除されます。デモ曲も削除され、戻すことができません。設定メニューの状態は消えません。
● いったんフォーマットしたプレーヤーの内容は元に戻せません。間違いのないように慎重に操作してください。

1 **プレーヤーのUSB接続モードを「MSC」（マスストレージクラス)に設定します(54ページ)。**

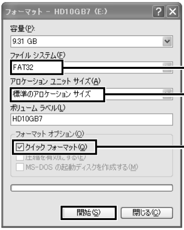
2 **プレーヤーとパソコンを、「ストレージ」モードで接続します(26ページ)。**

3 **本プレーヤー（HD10GB7)を選択します。**

「スタート」ー「マイ コンピュータ」ー「HD10GB7」で選択します。

4 **本プレーヤーをフォーマットします。**

「右クリック」ー「フォーマット」で選択します。図のように設定します、



FAT32を選択します。

標準のアロケーションサイズを選択します。

クイックフォーマットを選択します。

MEMO

● プレーヤーをフォーマットすると、プレーヤー内のすべてのデータは消去されます。またMTPモードで転送したデータも消去されます。

曲を選んで聞く

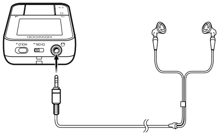
聞きたい曲を選んで再生します。

アーティスト	アーティスト名→アルバム名→曲名で選択します。 プレーヤー内のすべての曲から選択できます。
アルバム	アルバム名→曲名で選択します。 プレーヤー内のすべての曲から選択できます。
トラック	曲名で選択します。 プレーヤー内のすべての曲から選択できます。
お気に入り	お気に入りに登録されている曲のリストから選択します。
新着トラック	最近転送された50曲から選択します。
ジャンル	ジャンル→アーティスト名→アルバム名→曲名で プレーヤー内のすべての曲から選択できます。
リリース年	リリース年→曲名で選択します。 プレーヤー内のすべての曲から選択できます。
プレイリスト	プレイリスト名→曲名で選択します。 プレイリストに登録されている曲から選択できます。
ピクチャ	ファイル名で選択します。 プレーヤー内のすべての画像から選択できます。
フォルダ	フォルダ階層をたどって曲、画像を選択します。 プレーヤー内のすべての曲、画像から選択できます。

トップメニューで大項目を選ぶと、中項目のリストが表示されます。
再生する曲が表示されたときにプレイ/ポーズボタンを押すと、選択した曲から再生が始まります。
アルバムやプレイリストなどの曲以外の項目を選択してプレイ/ポーズボタンを押すと、その項目内の先頭の曲から再生が始まります。

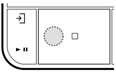
曲を選んで聞く

1 **ヘッドホンを接続し、プレーヤーの電源を入れます。**



20ページをご覧ください。

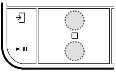
2 **トップメニューを表示します。**



左ボタンを押し続けます。
トップメニューが表示されます。

3 **大項目を選択します。（たとえば、「アルバム」を選択します）**

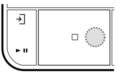




上または下ボタンを押して、カーソルを選択する項目に合わせます。

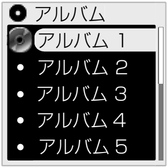
4 **大項目を決定します。（たとえば、「アルバム」の選択を決定します）**

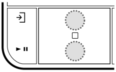




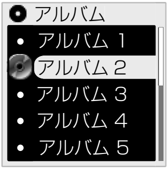
右ボタンを押して、選択されている項目を決定します。
大項目のリスト(中項目)が表示されます。

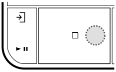
5 **中項目を選択します。（たとえば、「アルバム2」（アルバム名)を選択します）**





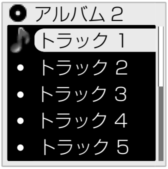
6 **中項目を決定します。（たとえば、「アルバム2」の選択を決定します）**

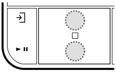




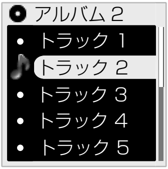
ここでプレイ/ポーズボタンを押すと、選んでいる中項目内のすべての曲を再生できます。たとえば、あるアルバム名を選んでいるときにプレイ/ポーズボタンを押すと、そのアルバム内のすべての曲を再生できます。

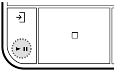
7 **曲を選択します。（たとえば、「トラック2」（曲名)を選択します）**





8 **曲を再生します。（たとえば、「トラック2」の選択を決定します。）**





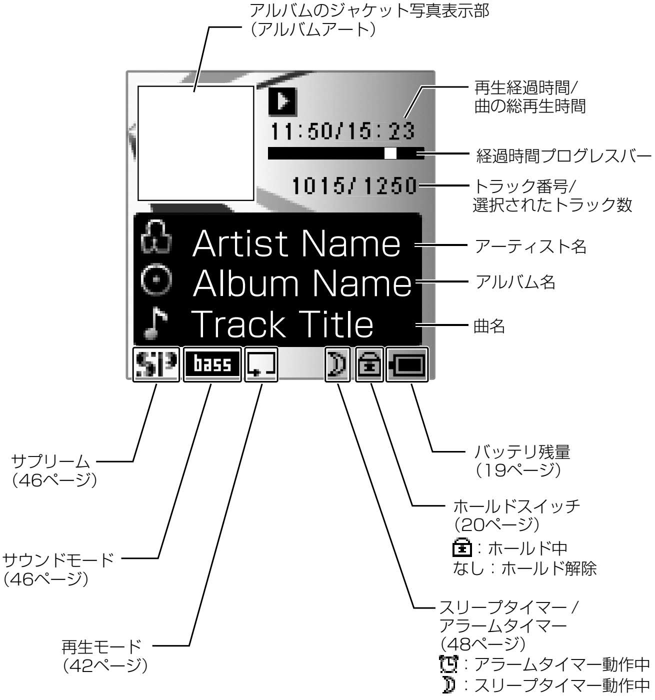
プレイ/ポーズボタンで決定します。
手順6で決定した中項目内の曲のうち、手順7で選択した曲から再生されます。
例では、「アルバム2」の「トラック2」から再生されます。

MEMO

- 曲にタグ情報が記録されていないと「No information」に分類されます。
- 選びなおすときは左ボタンを押します。1つ前の画面に戻ります。
- 最初からやりなおすときは、左ボタンを押し続けます。トップメニュー画面に戻ります。
- 「お気に入り」から選択するためには、好みの曲をお気に入りに登録しておく必要があります(43ページ)。
- 「新着トラック」には、最近転送した50曲が自動的に登録されています。
- 「プレイリスト」から選択するためには、パソコン側(Windows Media Playerなど)でプレイリスト(再生リスト)を作成し、プレーヤーに転送しておく必要があります。
- ここでは「選択」と「決定」を2つの手順(たとえば手順3と4)で示していますが、以降のページでは1つの手順で示します。

再生中の画面

再生中の画面には、いろいろな情報が表示されています。



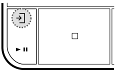
MEMO

● アルバムのジャケット写真が無いときはジャケット写真は表示されません。ジャケット写真を表示するには、Windows Media Playerでアルバムアート付きのアルバム情報を取り込んでおく必要があります（25ページ）。

曲情報を見るときは

再生中の曲の情報(フォーマット、ジャンルなど)を表示します。

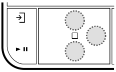
1 **ポップアップメニューを表示します。**



再生画面が表示されているときに操作します。

2 **「プロパティ」を選択します。**



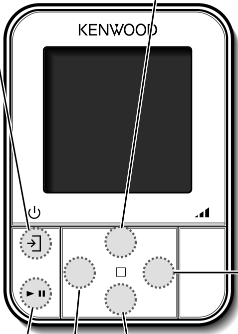


再生中の曲の情報が表示されます。

MEMO

● 左ボタンを押し続けると、トップメニューに戻れます。

再生中の操作いろいろ



電源/メニューボタン
ポップアップメニューを表示します。
ディスプレイ消灯中はディスプレイを表示します。

上ボタン
再生中：
押すたびに、現在の曲または前の曲の先頭から再生します（スキップダウン）。
長く押すと、押している間、曲を早戻しします。
一時停止中：
押すたびに、現在の曲または前の曲に変わります（スキップダウン）。
長く押すと、押している間、連続して前の曲に替わります。

右ボタン
ジャケット写真があるときは、拡大表示に切り替えます。

プレイ/ポーズボタン
再生中：
再生を一時停止します。
一時停止中：
再生を始めます。

左ボタン
曲のリストを表示します。
ジャケット写真が拡大表示のときは、通常表示に切り替えます。

下ボタン
再生中：
押すたびに、次の曲を再生します（スキップアップ）。
押し続けると、押している間、曲を早送りします。
一時停止中：
押すたびに、次の曲に変わります（スキップアップ）。
押し続けると、押している間、連続して次の曲に替わります。

MEMO

- 再生していない状態で一定時間（約5分）が過ぎると、自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。

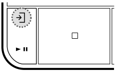
再生モードいろいろ

アーティスト、アルバムなど選択した分類（リスト）の中にある、曲の再生順序を6種類から選択できます。

ノーマル再生	リスト内の曲を再生し停止します。
リピート	リスト内の曲を繰り返し再生します。
1曲リピート	同じ曲を繰り返し再生します。
ランダム	リスト内の曲をランダムに1回ずつ再生します。
リピートランダム	リスト内の曲をランダムに再生し、これを繰り返します。
イントロ再生	リスト内の曲のイントロ部分を10秒ずつ再生します。

リスト内の曲は、「曲を選んで聞く」（35ページ）で選んだ分類によります。

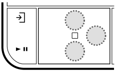
1 **ポップアップメニューを表示します。**



再生画面が表示されているときに操作します。

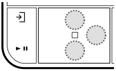
2 **「再生モード」を選択します。**





3 **再生方法を選択します。**

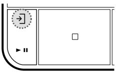




お気に入りに登録する／解除する

好きな曲をお気に入りに集めておけば、いつでもまとめて聞くことができます。最大30曲まで追加できます。

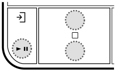
1　**目的の曲を再生し、ポップアップメニューを表示します。**



再生画面が表示されているときに操作します。

2　**「お気に入りに登録」を選択します。**

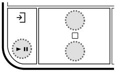




プレイ/ポーズボタンで決定します。

3　**お気に入りに入れた曲を取り消すには…**





その曲の再生中に同様の手順で、「お気に入りを解除」を選択してください。
プレイ/ポーズボタンで決定します。

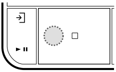
MEMO

- お気に入りに登録されている曲を再生するときは、トップメニューの「お気に入り」を選択してください。

画像を見る

プレーヤーに転送されている画像をディスプレイに表示します。

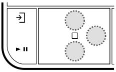
1 **トップメニューを表示します。**



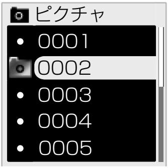
左ボタンを押し続けます。
トップメニューが表示されます。

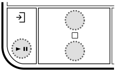
2 **「ピクチャ」を選択します。**





3 **表示する画像ファイルを選択します。**





選択した画像が表示されます。
プレイ/ポーズボタンで決定します。

MEMO

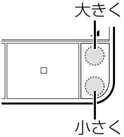
- 上ボタンを押すと前の画像、下ボタンを押すと次の画像に切り替わります。
- 左ボタンを押すと、画像ファイルのリストに戻ります。
- 左ボタンを押し続けると、トップメニューに戻れます。

音量を調整する

音量を調整します。

1 **音量レベルを選択します。**





ボタンを押し続けると、徐々に音量が大きく/小さくなります。

MEMO

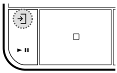
● 音量の上げすぎには十分ご注意ください。

音質を調整する（サプリーム、サウンドモード）

音質（音響効果）を9種類から選択できます。

Supreme（サプリーム）		オン	ケンウッド独自の音質向上技術で、MP3やWMAの圧縮時に失われた高音域を補間してリアルなサウンドを創ります。
サウンドモード		NORMAL	通常の音質で再生します。
		BASS/POPS ROCK/JAZZ DANCE/VOICE	音楽に合わせて、ジャンルを選べます。
		CUSTOM	3バンドカスタムイコライザでお好みの音質を設定できます。

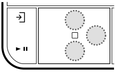
1 **ポップアップメニューを開きます。**



再生画面が表示されているときに操作します。

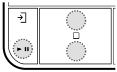
2 **「Supreme」または「サウンドモード」を選択します。**





3 **設定するモードを選択します。**

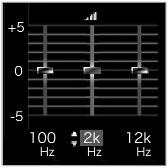


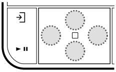


「Supreme」を選択したときは「オン」または「オフ」、「サウンドモード」を選択したときは音楽のジャンルまたは「CUSTOM」を選択します。プレイ/ポーズボタンで決定します。

「CUSTOM」を選択したときは…

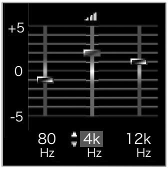
4 **バンド、周波数を選択します。**

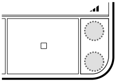




左右ボタンで高域、中域、低域バンドを上下ボタンで各バンドの周波数を選択します。

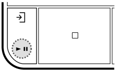
5 **レベルを設定します。**





ボリュームボタンで設定します。手順4と5を繰り返して、各バンドごとにレベルを設定します。

6 **決定します。**



プレイ/ポーズボタンで決定します。

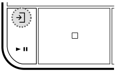
MEMO

- お買い上げ時の状態では、サプリームは「オフ」、サウンドモードは「NORMAL」に設定されています。
- サプリームとサウンドモードを同時に使用することはできません。

タイマーを設定する

スリープタイマーを使うと、設定時間後にプレーヤーの電源をオフにできます。また、アラームタイマーを使うと、設定時間後にアラーム（ビープ音）を鳴らすことができます。

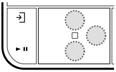
1 **ポップアップメニューを表示します。**



再生画面が表示されているときに操作します。

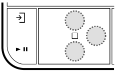
2 **「タイマー設定」を選択します。**





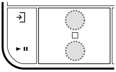
3 **設定するタイマーを選択します。**





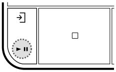
4 **動作時間を指定します。**





1分から120分の間から1分間隔で設定できます。

5 **タイマーを動作させます。**



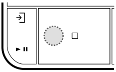
プレイ/ポーズボタンで決定します。

MEMO
- 手順3で「オフ」を選択すると、タイマーをオフにできます。
- スリープタイマーとアラームタイマーの両方を同時に使用することはできません。
- アラームタイマーで鳴っているアラームは、どれかボタンを押すと止まります。
- 電源を切るとタイマーの設定は解除されます。

各種の設定

ディスプレイの明るさ、表示時間、デザインテーマなど、お好みに合わせて設定できる機能があります。

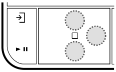
1 **トップメニューを表示します。**



左ボタンを押し続けます。
トップメニューが表示されます。

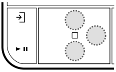
2 **設定メニューを表示します。**





3 **設定項目を表示します。**

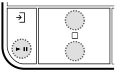




たとえば、ディスプレイの明るさを暗くするときは「明るさ」を選択し、設定項目を表示します。

4 **設定を行います。**





プレイ/ポーズボタンで決定します。
１つの設定が終わると、設定メニューに戻ります。
左ボタンを押すと、設定せずに前の画面に戻ります。

設定できる項目

● ディスプレイ、ボタンの表示ランプの明るさ設定(明るさ)

表示する画面とイルミネーションランプ明るさを選びます。

HIGH*	明るい
MID	標準
LOW	暗い

(*はお買い上げ時の設定)

● ボタンの表示ランプの設定(イルミネーション)

イルミネーションランプの点灯のしかたを選びます。

オン*	明るさで設定された輝度で点灯します
オフ	消灯

(*はお買い上げ時の設定)

● ディスプレイの省電力(点灯時間)

操作をしないとき、ディスプレイを省電力モードにするまでの時間を選びます。

5秒、10秒*、30秒

(*はお買い上げ時の設定)

● 自動再生(オートプレイ)

電源を入れると自動的に曲を再生できます。

オン*	再生を始める
オフ	再生を始めない

(*はお買い上げ時の設定)

● 操作音(ビープ音)

ボタンを押したときの操作音を選びます。

オン*	操作音を鳴らす
オフ	音を消す

(*はお買い上げ時の設定)

● ディスプレイのデザインテーマ(デザインテーマ)

ディスプレイのデザインテーマを4種類から選びます。

● 言語

ディスプレイに表示するメニューなどの言語を選びます(52ページ)。

● USB接続モード(USB接続)

パソコンとストレージモードで接続するときのUSB接続モードを設定します(54ページ)。

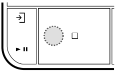
● システム情報

プレーヤーのシステム情報(内蔵ハードディスクの空き容量、総曲数、モデルID、バージョン)がディスプレイに表示されます。
システム情報の表示を消すときは、プレイ/ポーズボタンを押します。

言語を設定する

ディスプレイに表示するメニューなどの言語を選びます。

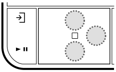
1 **トップメニューを表示します。**



左ボタンを押し続けます。
トップメニューが表示されます。

2 **設定メニューを表示します。**

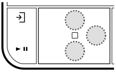




「設定」を選択します。

3 **言語のリストを表示します。**

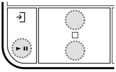




「言語」を選択します。

4 **言語を選択します。**





目的の言語を選択します。
プレイ/ポーズボタンで決定します。

MEMO

- 「初めて電源を入れる」で選択した言語を変更できます(21ページ)。
- 本プレーヤーでは「日本語」「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「イタリア語」「オランダ語」の言語が選択できます。

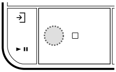
USB接続モードを設定する

プレーヤーをパソコンにストレージモードで接続したときのUSB接続モードを設定します。お買い上げ時はMSCに設定されています。

● MSC（マスストレージクラス）
常にMSCモードで接続されます。パソコンに接続すると、パソコン側からはちょうどリムーバブル ディスクのように見え、通常のドラッグ＆ドロップ操作でファイルをやり取りすることができます。このモードで転送した音楽データは、マスストレージUSB対応ステレオで再生できます。

● 自動切替
パソコンがMTP（Media Transfer Protocol）をサポートしているときはMTPモードで、サポートしていないときはMSCモードで接続されます。
MTPモードは、WindowsXPでWindows Media Player 10以降がインストールされているパソコンでサポートされており、定額制音楽配信サービスでダウンロードした音楽を本プレーヤーで再生するときは、このモードで転送します。

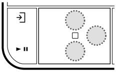
1 **トップメニューを表示します。**



左ボタンを押し続けます。
トップメニューが表示されます。

2 **設定メニューを表示します。**



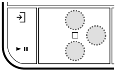


「設定」を選択します。

3

「USB接続」を選択します。



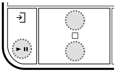


「USB接続」を選択します。

4

USB接続モードを選択します。





目的の接続モードを選択します。
プレイ/ポーズボタンで決定します。

MEMO

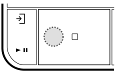
- MSCモードでプレーヤーに転送したデータは、MTPモードで接続したときパソコンでは表示されません。またMTPモードでプレーヤーに転送したデータは、MSCモード接続したときパソコンで表示されません。転送したデータは、おのおの同じ接続モードで接続したときに表示されます。
- 本プレーヤーはパソコンに接続したとき、MTPモードでは「Media Keg HD10GB7」、MSCモードでは「HD10GB7」と表示されます。
- ストレージモード接続中は、USB接続モードの設定はできません。
- MTPモードは、WindowsＸＰでWindows Media Player 10以降がインストールされているパソコンでサポートされています。

初期設定に戻す

設定メニューなどで行ったプレーヤーの設定をお買い上げ時の状態に戻したいときは、設定リセットを行います。

《注意》
**設定リセットは設定メニューをお買い上げ時の状態に戻します。
音楽データなどは消えません。**

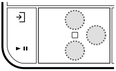
1　トップメニューを表示します。



左ボタンを押し続けます。
トップメニューが表示されます。

2　設定メニューを表示します。

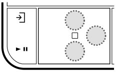




「設定」を選択します。

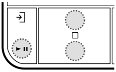
3　「設定リセット」を選択します。





4 **間違いのないことを確認し、「する」を選択します。**





プレイ/ポーズボタンで決定します。

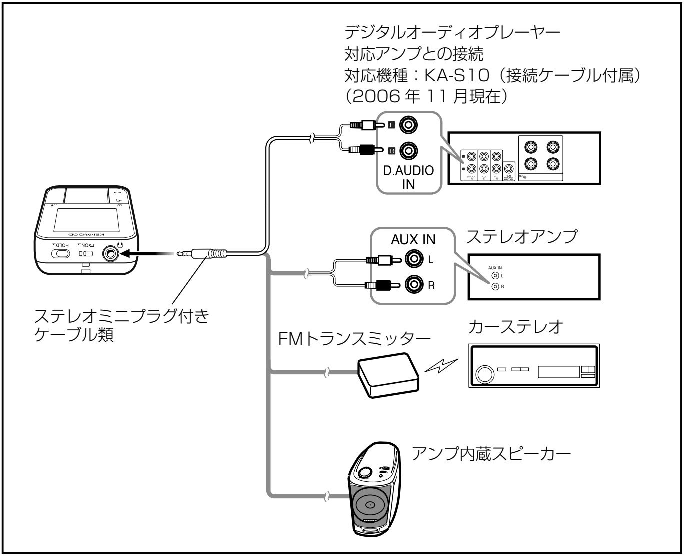
MEMO

- プレーヤーを設定リセットしたときは、次回プレーヤーの電源を入れたときに、ご使用になる言語を選択してください(21ページ)。
- プレーヤーを設定リセットしても、プレーヤーに保存されている曲や画像は削除されません。曲や画像の個別の削除(33ページ)やプレーヤーのフォーマット(34ページ)はパソコンから行ってください。

外部機器との接続について

ヘッドホンジャックを使うと、アンプ内蔵のスピーカーなどの外部機器と接続することができます。

ヘッドホンジャックに接続するとき

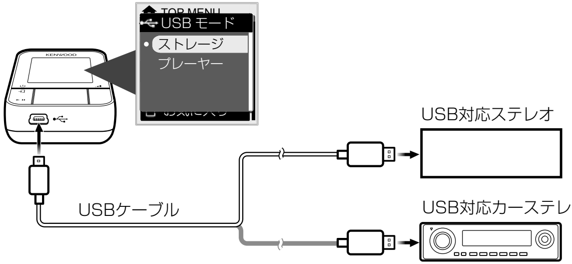


MEMO

- 接続する外部機器の入力端子に合わせて、オーディオケーブル(市販品)を用意してください。
- 外部機器と接続するときは本プレーヤーの操作音(ビープ音)をオフにしてください(51ページ)。
- FMトランスミッターをご使用のときは、ご使用の車種や周辺機器、アンテナの位置など設置環境によって、ノイズが発生することがあります。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。故障の原因になります。

USBコネクターを使うとUSB対応ステレオに接続でき、ステレオからプレーヤーのファイルを操作できます。

USBコネクターに接続するとき



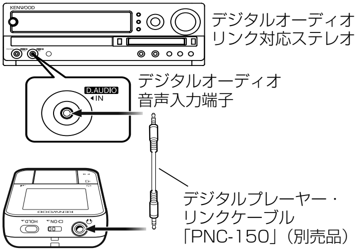
1 プレーヤーの電源をオンします(20ページ)。
2 接続するUSB対応ステレオに合わせてUSB接続モードを設定します(54ページ)。
3 USBケーブルを接続します(18ページ)。
4 USBモードを「ストレージ」に設定します(26ページ)。

MEMO

- USB対応ステレオ（MSC：マスストレージ）は、MTPモードで転送した曲は再生できません。MSCモードで曲を本プレーヤーに転送してください。USB対応ステレオの仕様は、ご使用のステレオの取扱説明書をご覧ください。
- 再生できるファイル形式はUSB対応ステレオで異なります。詳しくは、ご使用のステレオの取扱説明書をご覧ください。
- バッテリスイッチがオンになっていれば、プレーヤーとUSB対応ステレオを接続したときはいつも充電されます。

デジタルオーディオプレーヤーリンクについて

本プレーヤーをデジタルオーディオプレーヤーリンク対応のケンウッド製オーディオ機器と接続すると、本プレーヤーでの再生を外部オーディオ機器から操作できます。



1 プレーヤーの電源をオンします(20ページ)。
2 接続したステレオのインプットセレクターをデジタルオーディオにします。
● 接続したステレオの本体キー、およびリモコン操作で「再生/一時停止」「スキップアップ・ダウン」などが操作できます。

※ デジタルオーディオプレーヤーリンク対応ステレオ機種（2006年11月現在）
：AX-D7、ES-A5MD、MDX-L1、R-K801、R-K1、SV-3MD、UD-A77、UD-A55

MEMO
● デジタルオーディオプレーヤーリンクの詳細や操作方法については、ご使用のデジタルオーディオプレーヤーリンク対応オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。本プレーヤーは「フォルダスキップ」機能には対応していません。

用語解説

DRM10：

マイクロソフト社の著作権保護技術で、Windows Media Player 10から対応しています。通常のコピー防止のほかに定額配信（サブスクリプション）にも対応しています。

JPEG：

圧縮率はおおむね1/10～1/100程度の静止画像データの圧縮方式。

デジタルカメラの録画画像などに使用され、写真など自然画の圧縮に効果的です。

MP3（MPEG-1 Audio Layer3）：

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10 から1/12 の圧縮率が得られます。

MSC（マスストレージクラス）：

大容量記憶装置として分類されるUSBの機器タイプのことです。

ハードディスクやCDドライブのような大容量の記憶装置を「USBマスストレージクラス」と呼びます。

このような機器をパソコンに接続すると、パソコン側からはちょうどリムーバブル ディスクのように見え、通常のドラッグ＆ドロップ操作でファイルを簡単にやり取りすることができます。

MTP（Media Transfer Protocol）：

マイクロソフト社が開発したデータ転送方式。DRM10で保護されたデータの転送は、MTPで行うことができます。定額制音楽配信サービスでダウンロードした音楽を本プレーヤーで再生するときは、このモードで転送します。

Supreme（サプリーム）：

MP3やWMAなどオーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し補間することで、リアルなサウンドを蘇らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

USB：

パソコン周辺機器とパソコンを結ぶインターフェースの規格のひとつ。本プレーヤーはUSB1.1、2.0に対応しています。

WAV（PCM）：

Windowsの標準的な非圧縮音声形式です。

WMA（Windows Media Audio）：

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

WMP（Windows Media Player）：

Microsoft社が無償で配布しているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアです。動画や音声の再生に使います。インターネット上で流通しているファイルフォーマットの多くに対応しているほか、同社の独自技術であるDRM10などに対応しています。現在は機能が多機能化し、ジュークボックス機能や音楽作成機能、リッピング（CDからの音楽取り込み）機能などを装備しています。

サブスクリプション：

デジタルコンテンツを貸し出すための機能です。会員制サービスなどで、指定された期間のみ聞くことができるサービスなどに利用されます。

ストレージモード：

プレーヤーとパソコンを接続するモード（USB接続モード）で、データ転送が行えるモードです。ストレージモードでは、プレーヤー本体を操作できません。ストレージモードには、MTPモードとMSCモードがあります。

タグ情報：

タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどオーディオファイルに書き込まれている情報です。

プレーヤーモード：

プレーヤーとパソコンを接続するモード（USBモード）で、パソコンからのデータ転送は行わず、充電だけを行うモードです。充電しながら、再生などプレーヤー本体を操作することができます。

リッピング：

音楽CD記録されているデジタル形式の音声データを読み込み、パソコンで処理できるようなMP3やWMAなどのファイル形式に変換して保存する処理です。これを行うソフトウェアを「リッピングソフトウェア」と言います。

こんなメッセージが表示されたら

表示	対策
システムエラー	本プレーヤーの動作で異常が発生しました。ホームページのサポート情報をご覧になり、リカバリーを行ってください。それでも復旧しない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。
ファイルシステムエラー	本プレーヤーのファイルシステムで異常が発生しました。本プレーヤーをフォーマットしてください(34ページ)。
サポート外のファイルです	本プレーヤーでサポートされていない形式のファイルを再生しようとしました。本プレーヤーで再生できるファイル形式は、「定格」をご覧ください(66ページ)。

MEMO

● 製品に関する一般的なご質問や、お問い合わせの多い内容などをホームページに掲載しています。ご活用ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

故障かな？と思ったら

本機では、パソコンを利用することでリカバリー（復元)をすることができます。電源が入らない、時々電源が落ちる、正しく表示されないなど、故障と思われるような症状が発生した際には、是非一度お試しください。
詳しくはホームページのサポート情報をご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

症状	対策
電源が入らない。 ボタンを押しても操作できない。	ホールド機能がオンになっています。 ホールドスイッチでホールド機能を解除してください(20ページ)。
	バッテリスイッチがオフになっています。 バッテリスイッチをオンにしてください(18ページ)。
	バッテリの残量が無くなっています。 プレーヤーとパソコンをUSBケーブルで接続してバッテリを充電してください(18ページ)。
	パソコンと接続中です。 プレーヤーをパソコンに｢ストレージ｣モードで接続しているときは、プレーヤーは操作できません(26ページ)。
充電しても直ぐに残量がなくなる。	バッテリが劣化しています。 新しい内蔵電池に交換してください。 なお、バッテリの交換についてはお買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
再生できない。	オーディオデータがありません。 Windows Media Playerを使用してオーディオデータをプレーヤーに転送してください(28ページ)。

症状	対策
再生時にノイズが入る。 音が飛ぶ。	転送元のオーディオファイルに問題がないか確認してください。 再生しているオーディオデータのサンプリング周波数とビットレートの組み合わせが、プレーヤーの再生できる範囲外の可能性があります。 再生可能なサンプリング周波数とビットレートでリッピングし(23ページ)、Windows Media Playerを使用してオーディオデータを転送しなおしてください(28ページ)。
音が聞こえない。	ヘッドホンが正しく接続されていません。 ヘッドホンと本体を正しく接続してください(36ページ)。
	音量の調節が最小になっています。 音量を調整してください(45ページ)。
充電できない。	バッテリスイッチがオフになっています。 バッテリスイッチをオンにしてください(18ページ)。
	USBケーブルが正しく接続されていません。 プレーヤー側とパソコン側のコネクターを確認してください。
	使用温度の範囲をはずれています。 使用温度の範囲内で充電してください。
パソコンがプレーヤーを認識しない。	パソコンと正しく接続されていません。 パソコンとプレーヤーの接続を確認してください。USBモードは「ストレージ」モードを選んでください(26ページ)。
	USBケーブルに不具合があります。 別のUSBケーブルに変えて接続してください。
	プレーヤーの電源がオフになっています。 電源をオンにしてください(20ページ)。

定格

記録媒体（内蔵ハードディスク）*[1]
：1.0インチ、10GB

ヘッドフォン出力
：3.5 mm ステレオミニジャック
：8.0+8.0 mW/16Ω

インターフェース
：USB 2.0（USB 1.1 互換）

ディスプレイ（表示画面）
：1.5 型カラー有機ELディスプレイ*[2]
（128 ×128ドット 65536色）

再生オーディオ形式
MP3、WMA（Windows Media Audio DRM対応）、WAV(PCM)

再生画像形式
JPEG *[3]

最大ファイル数
：最大5000曲（収録曲数）
：最大1000枚（保存画像数）

収録時間 / 曲数の目安 *[4]
：約320時間/ 約4800曲

本体寸法（幅×高さ×奥行）
：約44 mm×62 mm×17 mm

重量
：約78 g

内蔵電池
：リチウムイオン充電池

充電時間
：約3時間

連続再生時間 *[5]
MP3（128 kbps）：約24時間
WMA（64 kbps）：約20時間

- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

サンプリング周波数とビットレートの組み合わせについて

プレーヤーで再生できるオーディオデータの、サンプリング周波数とビットレートの組み合わせは、下記のとおりになります。これ以外の組み合わせのオーディオデータについては、正常に再生できない場合があります。またVBR（Variable Bit Rate:可変ビットレート）のオーディオデータは、ビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

再生フォーマット

MP3
サンプリングレート：44.1 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート：32 ～ 320 kbps
ID3タグ：ver. 2.2、2.3、2.4

WMA（DRM対応）
サンプリングレート：44.1 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート：32 ～ 355 kbps

WAV
サンプリングレート：44.1 kHz
ビット数：16 bit
チャンネル：ステレオ、モノラル

*1 実際に使用可能な領域は、システムファイル領域があるため表記の容量より少なくなります。
*2 有機ELディスプレイは、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示（画素）が存在することがあります。（故障ではありません。あらかじめご了承ください。）
*3 プログレッシブJPEG、JPEG2000非対応。
*4 64kbpsのWMA形式で1曲約4分の場合。
*5 付属のヘッドホン使用、Supreme「オフ」、サウンドモード「NORMAL」、無操作のとき。（これらの数値は参考値であり、保証する値ではありません。）

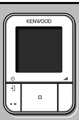
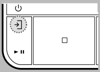
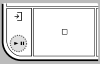
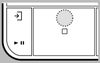
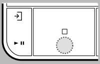
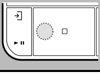
Operating instructions

Setting the display language to English

Keep pressing the left button to show the home screen. And then follow the instruction shown below to select "English".



Function of each button

 **Button**	 **When in play mode of music files**
	Press and hold to switch the power ON/OFF. Display the pop-up menu. Press when the display is turned off (screen saver mode) to turn on the display.
	**Play mode:** Lets playback pause temporarily. **Pause mode:** Resumes playback.
	**Play mode:** Each press skips to the beginning of the current track (Skip-down) or previous tracks. Press and hold to fast reverse the track. **Pause mode:** Each press skips to the beginning of the current track (Skip-down) or previous tracks. Press and hold to skip to the previous tracks one after another.
	**Play mode:** Each press skips to the beginning of the next track (Skip-up). Press and hold to fast forward the track. **Pause mode:** Each press skips to the beginning of the next track (Skip-up). Press and hold to skip to the subsequent tracks one after another.
	Displays the list of tracks. Returns to the home screen.

⚠危険

内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中にいれない

発熱・破裂・発火によって火災の原因となります。

火のそばや炎天下などに置かない

火災・破裂・発熱の原因となります。

内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼る

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

⚠警告

内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない

けが・事故の原因となります。

内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

そのままにしておくと、目に障害がおきる原因となります。

内蔵電池のリサイクル

Li-ion

プレーヤーの内蔵電池は、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。
プレーヤーを廃棄する際には、内蔵電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する情報：

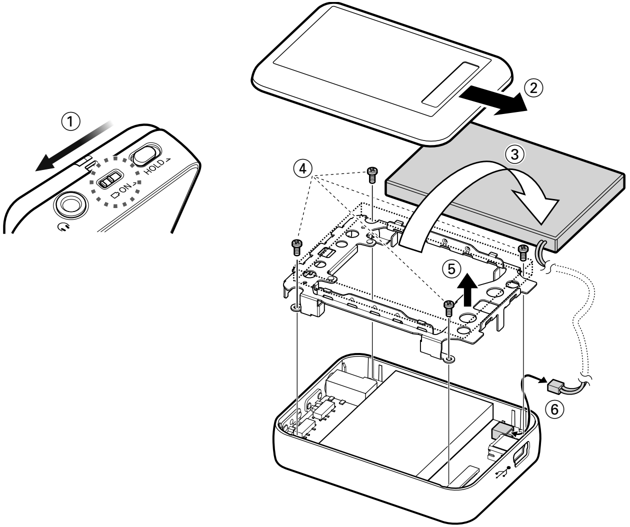
有限責任中間法人 JBRC
ホームページ： http://www.jbrc.com

廃棄時のご注意

廃棄時の内蔵電池の取り外しかた

重要：廃棄をするとき以外は、プレーヤーを絶対に分解しないでください。内蔵電池を取り外すときは必ず電池のコネクター部から取り外し、コードを切らないでください。ショートし破裂・発火のおそれがあります。

1 バッテリスイッチをオフ側にスライドします。
2 プレーヤー底面のケースを矢印の方向にスライドさせ、ケースを取り外します。
3 内蔵電池をプレーヤーから取り出します。このとき、コードを引っ張らないように注意してください。
4 精密ドライバー (+)を使用してビスを4本取り外します。
5 シャーシを持ち上げて取り出します。
6 内蔵電池のコードを矢印の方向に引っ張り、コネクターから取り外します。
7 取り外した内蔵電池は、コードのコネクター部をテープでおおうようにして内蔵電池に貼り付け、ポリ袋などに入れます。



MEMO
● 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
● 一度取り出した内蔵電池は、基板のコネクターに接続しないでください。
● 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ケンウッド全国サービス網（2006年11月現在）

使いかたや製品に対するお問合せは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

北海道

札幌サービスセンター　☎ (011) 743-7740
〒 007-0834　札幌市東区北 34 条東 14-1-23

東北

仙台サービスセンター　☎ (022) 284-1171
〒 984-0042　仙台市若林区大和町 5-32-12（サンライズ大和 1F）

盛岡サービスステーション　☎ (019) 646-2311
〒 020-0124　盛岡市厨川 4-5-11

関東・信越

さいたまサービスセンター　☎ (048) 647-6818
〒 330-0801　さいたま市大宮区土手町 1-2（JA 共済埼玉ビル 1F）

千葉サービスステーション　☎ (04) 7163-1441
〒 277-0081　柏市富里 1-2-1

横浜サービスセンター　☎ (045) 939-6242
〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

東京サービスステーション　☎ (03) 3363-1650
〒 169-0073　新宿区百人町 2-16-15（MY ビル 1F）

新潟サービスステーション　☎ (025) 287-7736
〒 950-0923　新潟市姥ケ山 1-5-37

中部・甲州

名古屋サービスセンター　☎ (052) 917-2550
〒 462-0861　名古屋市北区辻本通 1-11

静岡サービスステーション　☎ (054) 262-8700
〒 420-0816　静岡市葵区沓谷 5-61-1

松本サービスステーション　☎ (0263) 26-7331
〒 390-0832　松本市南松本 2-7-30（昭和ビル 2F）

金沢サービスステーション　☎ (076) 265-5045
〒 920-0036　金沢市元菊町 21-87

近畿・四国

大阪サービスセンター　　　☎ (06) 6394-8075
〒 532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

高松サービスステーション　☎ (087) 835-2413
〒 760-0068　高松市松島町 3-1

中国

広島サービスセンター　　　☎ (082) 832-2210
〒 731-0137　広島市安佐南区山本 1-8-23

九州

福岡サービスセンター　　　☎ (092) 551-9755
〒 815-0035　福岡市南区向野 2-8-18

鹿児島サービスステーション ☎ (099) 251-6347
〒 890-0063　鹿児島市鴨池 2-15-10（パレス鴨池 1F）

沖縄サービスステーション　☎ (098) 874-9010
〒 901-2101　浦添市西原 4-36-17

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内：
  午前 10 時から午後 6 時まで
  月曜日〜金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター
ナビダイヤル　☎ 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP 電話からのご利用は ☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553
〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内：
  月曜〜金曜　午前 9 時 30 分から午後 6 時
  土曜　　　　午前 9 時 30 分から午後 12 時、午後 1 時から午後 5 時 30 分
  （日曜、祝日及び当社休日を除く）

お問い合わせの前に

お問い合わせの際は、あらかじめ下記の項目をご用意ください。また、お問い合わせの前にぜひ一度、ホームページのサポート情報をご覧ください。
URL : http://www.kenwood.co.jp/faq/

製品に関して

● 製品ご購入日
● 製品名および製品型番
● シリアル番号
● ファームウェアバージョン

パソコン環境に関して

● OS： Windows 2000、XP
● サービスパックのバージョン

不具合症状に関して

● 症状の詳細
1) 何が
2) どのような状況で
3) どんな症状が発生したか
● 症状の頻度
1) 一度だけ発生し、その後は起きていない
2) 再発するが、再起動すれば発生しない
3) 再起動しても発生する
4) その他
● 症状発生した直前の操作内容
1) 症状発生時のパソコンおよびプレーヤー画面の状態(パソコンおよびプレーヤー表示)
2) エラーメッセージの有無とメッセージ内容
3) トラブルを解決しようとして行った操作内容

録音(リッピング)に関して

● 録音(リッピング)ソフト名とバージョン：Windows Media Player 10 等
● 不具合発生のファイルについて
1) アーティスト名
2) アルバム名
3) タイトル名
4) 録音(リッピング)方式
5) ビットレート
WAV、MP3（_____ kbps、VBR）
WMA（_____ kbps、VBR）
※ WMAファイルの場合、著作権保護(DRM)の有無
※ 可変ビットレート（VBR）の場合は、設定した可変の幅

重要：プレーヤーの修理をご依頼のときは、ハードディスクの内容（オーディオデータなど)の保証はいたしません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1.保証について

- **保証書**ー製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「**お買い上げ日**」・「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間**ーお買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2.修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3.補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.修理を依頼されるときは

「**故障かな？と思ったら**」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ずバッテリスイッチをオフにしてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5.アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
  ① 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
  ② 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  ③ 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
  ④ 送料：　郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6.保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. **次の場合には保証期間内でも有料になります。**
   (1) 保証書のご提示のない場合。
   (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
   (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
   (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）
   (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
   (9) 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池等) の交換。
   (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)
7. **保証書は、再発行しません。大切に保管してください。**

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。

保証書　持込修理用（日本国内専用）

品名	デジタルオーディオプレーヤー	形名	HD10GB7
保証対象	本体	保証期間	（お買上げ日より）1 年間
※お買上げ日	年　　月　　日		
※お客様	お名前　　様 ご住所 電話番号　（　　）		
※販売店	店名 住所 電話番号　（　　）		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
　　　　　土曜日　　　　　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
　　　　　※日曜、祝日及び当社休日を除く

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

※ 保証書は 75 ページに付いています。

PRINTED WITH SOY INK™　大豆油インキを使用しています

R100　古紙配合率100%再生紙を使用しています

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3